

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	商店街（代表者）	・百貨店を核店舗とする大型再開発ビルがオープンしたため、この波及効果が期待できる。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	・季節の変化が鈍いため、食品販売業者にとっては売りにくい状態になっているが、これから秋が深まるにつれ、消費者の購買意欲が増す。
		コンビニ（経営者）	・例年であれば売上が減少する時期に向かうが、店舗のリニューアルにより焼きたてパンコーナーを新設したため、売上増加が期待できる。
		家電量販店（店長）	・年末に向けて大型テレビの需要は増える。さらに寝室、子供部屋などの2台目需要も盛り上がる。また暖房機では、石油ファンヒーターの生産メーカーが減少したことや、クリーンで安全なエアコン暖房のイメージが高まっているため、エアコンの需要が増加する。
		乗用車販売店（総務担当）	・新型ミニバンの予約が発表前から殺到しており、この秋の商戦では強気の販売体勢で販売を上乗せする。
		その他専門店〔医薬品〕（営業担当）	・健康食品を始め、高齢者向け化粧品、歯周病予防商品などが動いている。
		通信会社（社員）	・携帯電話の新端末の発売を予定している。
	変わらない	住宅販売会社（従業員）	・全国規模の大手住宅メーカーが北陸で本格的に動き出したため、高品質で低価格の住宅競争に拍車が掛かり、消費者の家に対する考え方が変わるかもしれない。このため、大勢の客が展示場に足を運び、活気づく。
		百貨店（営業担当）	・来客数を増やす材料がなかなか見当たらない。客の慎重な買い物態度は変わらず、イベントにおいても特別なものは別にして、通常のものでは集客が難しい。
		スーパー（店長）	・野菜の価格が高値で推移しているため、買い控えが続く。
		スーパー（営業担当）	・年末、クリスマスなどの時期に向かうが、客は必要な物しか購入しない。
		家電量販店（経営者）	・地上デジタル放送開始によるテレビの売上増加に期待できるが、それ以外の商品では好調となる材料が見当たらない。
		乗用車販売店（経営者）	・輸入車は一律に値上げ傾向にあり、ローン金利も各社で上昇しているため、盛り上がりには欠ける。
		乗用車販売店（営業担当）	・6か月間の販売量、来客数などを見ると、前年に比べほぼ横ばいで推移しており、この状態が続く。
やや悪くなる	自動車備品販売店（従業員）	・ガソリンの高騰が続いているため、車関連商品の購入に悪影響がある。	
	一般レストラン（スタッフ）	・年金、消費税問題が横たわっており、先行きに不透明感がある。また、ガソリン代に続いて、カップめんや外食など食の部分でも値上げが始まり、家計を圧迫する。	
	スナック（経営者）	・中小企業の客からはコスト割れの仕事が多いことや、売掛金の回収不能など先行きに不安を訴える声が多く聞かれる。	
	観光型旅館（経営者）	・10月以降は募集型団体を中心に宿泊客数は前年より増加しているが、原油高や中国産食材の安全性などに起因する食材仕入価格の高騰が心配である。	
	旅行代理店（従業員）	・先行予約状況を始め、同業他社や宿泊機関からの情報によっても、明るい話が見当たらない。	
	テーマパーク（職員）	・能登半島地震等の風評被害により、特に団体客を中心とした減少が年内一杯は続く。	
	競輪場（職員）	・6、7、8月と連続して入場者数及び売上が減少したが、9月は8月に比べ入場者数で7.3%増、売上で7.2%増となり、10月以降もこの水準維持を期待している。	
やや悪くなる	その他レジャー施設（職員）	・レジャーの予定が立てにくいのか、宿泊については直近予約の傾向が以前よりも強まった。逆に宴会では定期・定例的な予約は横ばいだが、急に実施が決まるようなケースは少ない。レジャー消費に対しては客に慎重な動きが見られる。	
	一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	・取引先は仕入単価の圧縮に強気の姿勢を見せており、今後も厳しい状況は続く。	
	一般小売店〔事務用品〕（営業担当）	・文具業界では10月からコピー用紙の値上げが予定されており、利益はますます厳しくなる。	
	百貨店（営業担当）	・9月末にようやく気温が低下したが、今年は暖冬が予想されるため、厚手のジャケットやコート類が苦戦する。	
		スーパー（総務担当）	・商品が値上がり傾向にあり、更なる原油高が心配である。

		スーパー（副店長）	・天候不順にも増して、競合店の出店により多大な影響を受ける。
		コンビニ（経営者）	・来客数が増えないなかで、弁当などの単価が若干低下気味となっており、この傾向が続く。
		都市型ホテル（スタッフ）	・前年の大型宴会の代替物件が無く、また利用客数に回復の兆しが見られないことから減収となる。
		タクシー運転手	・当初値上げ方向で進んでいたタクシー運賃は一部の会社で値上げ申請を取り下げたため、全社が値下げ申請することになった。今後ますます客の奪い合いが激しくなる。
		通信会社（営業担当）	・新しい携帯電話の発売が近くなっても従来製品の価格が低下しないため、客の買い控えが散見される。
		住宅販売会社（従業員）	・建築基準法改正に伴って建築確認申請手続きに影響が始め、打合せから契約までの時間が掛かり過ぎる。
		住宅販売会社（従業員）	・良好な分譲地は期待できるが、注文住宅、分譲住宅とも先行きは非常に厳しい。
	悪くなる	商店街（代表者）	・原油高騰、天候不順の影響を受け、値上がり商品が相次ぐ傾向にあり、一層の消費離れが懸念される。
		スーパー（店長）	・当店周辺の1キロメートル圏内に、大手資本のスーパーがこの数年間で4店も出店した。11月には500メートル以内に5店目が出店するが、お手上げの状態である。
		パチンコ店（店員）	・人気台が不在のため、更に悪化する。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	一般機械器具製造業（総務担当）	・引続き国内市場の受注状況は厳しいが、引き合い件数は増えている。設備意欲が出てきたと感じる。
		通信業（営業担当）	・9月後半から徐々に通信機器の販売数が増えてきた。好調な9月期決算の影響かと思われ、先行きは明るい。
	変わらない	繊維工業（経営者）	・既に来年の春物の生産に入っているが、高機能を中心とした実用衣料が先行しており、ファッション性の衣料はやや遅れ気味である。
		電気機械器具製造業（経理担当）	・少なくとも年内は好調な状態が継続する。
		精密機械器具製造業（経営者）	・当社の今後2、3か月の受注数は例年とは異なり、20%程度増加している。しかし、材料供給業者などの話では、眼鏡産地全体では減少傾向が続いているという。
		輸送業（配車担当）	・燃料費が急に低下するとは思えず、利益の上まらない状況が続く。
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	・広告媒体の多様化により、クライアントが折込を選択しない傾向が見られる。
	やや悪くなる	食料品製造業（企画担当）	・今回の規格変更を主とした食品値上げは原料、包装資材、燃料とあらゆるものの値上げが要因となっているが、今後原料が一段と高騰することが明らかになっており、収益性は更に厳しくなる。
		繊維工業（経営者）	・残暑が厳しいため秋物が苦戦しており、受注の先行きに力強さが感じられない。一方、原油高騰によるコスト増から収益の確保が難しくなりつつある。
		金融業（融資担当）	・原油高や物価上昇により、企業の売上及び個人消費が一時的に減少する。
		司法書士	・中小貸金業の倒産、廃業の影響による多重債務問題の深刻化が予想される。
	悪くなる	建設業（経営者）	・原油価格の上昇により、舗装工事の主要資材であるアスファルト合材の今年2度目の値上げが10月に予想されている。値上げとなっても設計価格に反映されるまでにタイムラグがあり、競争激化と資材価格の上昇で、ますます採算性が悪くなる。
		建設業（総務担当）	・資材価格や協力業者の工賃上昇が続いている。加えて受注工事の着工遅れも重なり、工事採算の低下も見込まれ、厳しさが増す。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・紹介予定派遣を希望する求職者が若干増えてきている。ただし、正規の採用では慎重な決定となるため成約件数が伸びない。
		職業安定所（職員）	・新規求人数が前年同月比で減少しているが、新規求職者も同じく減少している。
	職業安定所（職員）	・パート求人の増加に加え、製造業を中心に派遣への切替えの動きが見られるなど、依然として非正規求人の占める割合は大きい。	

	民間職業紹介機関（経営者）	・工作機械メーカー等からは、受注が回復するまで人員は現状維持と聞いている。
やや悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・市内中心部に大型デパートがオープンしたため、従来の求人がいったん落ち着く可能性がある。
悪くなる	-	-